

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110037	X-01/21-A-1-110037	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
世界史（近現代）	小山田 紀子			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年
授業目的							
この講義では、西洋史とくにフランス近現代史を取り上げる。18世紀末におこったフランス大革命は世界史上で人類を近代へと導く重要な転換点 を画する事件であった。革命による国民国家と近代市民社会の形成をたどり、フランス革命が世界に与えた影響を見る。次に19世紀後半以降はフランス植民地拡張という帝国主義の時代に入るが、二つの世界大戦を経てフランスは戦後、植民地の民族運動に対峙せねばならなかった。イギリスとフランスの二大植民地帝国は1950～60年代に崩壊過程 をたどり、旧植民地の新興独立諸国は第三世界を形成することになる。しかし、政治的独立を達成した新興国も経済的には多くの困難を抱え、今日の開発途上国と先進国の関係は半世紀たった今も南北問題として現れている。植民地の残滓ともいえる諸問題が、旧宗主国の先進国と旧植民地の開発途上国双方において見られるのである。ここではとくにフランスとマグリブ（北西アフリカのアルジェリア・チュニジア・モロッコの三国）との関係を先進国－開発途上国関係の一つの事例として取り上げることにはしたい。以上のような視点は現代世界を理解していく上で極めて重要であり、国際学部の他の授業を理解していくうえでの歴史的見方を提示できるのである。							
各回の授業内容							
第1回 【授】 絶対王政の成立と破綻 【前・後】 予習2時間・復習2時間。テキストの序文を読んでおく。授業内容をまとめる。				第9回 【授】 戦後復興と植民地戦争 1) 繁栄の30年 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む			
第2回 【授】 フランス革命とナポレオン帝国 1) フランス革命 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む				第10回 【授】 戦後復興と植民地戦争 2) インドシナ戦争からアルジェリア戦争へ 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む			
第3回 【授】 フランス革命とナポレオン帝国 2) ナポレオン帝国 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む				第11回 【授】 戦後復興と植民地戦争 3) ドゴールと第五共和政 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む			
第4回 【授】 名望家支配の時代 (王政復古と7月王政) 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む				第12回 【授】 1974年以後のフランス 1) ジスカールデスタンと移民問題 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む			
第5回 【授】 第二帝政の時代 (ナポレオン3世) 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む				第13回 【授】 1974年以後のフランス 2) ミッテランの政策 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む			
第6回 【授】 第三共和政と帝国主義の時代 1) 第三共和政の形成 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む				第14回 【授】 1974年以後のフランス 3) シラクからサルコジ、オランドそしてマクロンへ 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む			
第7回 【授】 第三共和政と帝国主義の時代 2) フランス帝国主義 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む				第15回 【授】 定期試験(レポート) 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む			
第8回 【授】 二つの世界大戦 【前・後】 予習2時間・復習2時間。ノートのまとめと教科書を読む				第16回 【授】 第5回目のあとに中間レポートを課す。 【前・後】 自宅学習として、レポートを書いてもらう。(4時間の自宅学習)			
成績評価方法							
中間レポート(30点)、期末試験—レポート—の点数(70%)、を合わせて総合的に判断する。各授業でコメントペーパーを書いてもらい、次回の授業で、そのコメントペーパーの紹介、質問に答えるなど、教員と学生の双方向的な授業を行っているので、2つのレポートにすべてが表現できる試験問題を工夫している。したがって、定期試験(2回のレポート)の評価を重視する。							
教科書・参考書							
教科書 佐々木真『図説 フランスの歴史』河出書房新社 参考書 谷川稔・渡辺和行編著『近代フランスの歴史—国民国家形成の彼方に—』ミネルヴァ書房、2017年 バンジャマン・ストラ著、小山田紀子・渡辺司訳『アルジェリアの歴史』明石書店、2011年10月 その他、授業の中で適宜指示する。							
受講に当たっての留意事項							
人間や社会に関心を抱き、想像力をもって歴史の本を読むこと。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表 等)の実施	
×						×	
学習到達目標							
国民国家とは何か、という視点から歴史を見る目を養い、グローバル化の進む現代世界における人間のあり方、個人の生き方について考える姿勢を獲得してもらいたい。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習